

2022二戸地区平和集会開催

開催日時 2022年7月27日（水） 18：30～
 開催場所 二戸市シビックセンター1F大ホール
 参加人数 70名

新型コロナウイルス感染症の急激な拡大により感染防止対策を行い、短時間での二戸地区平和集会を開催しました。また、二戸地区原水爆禁止協議会代表の鈴木忠幸様と二戸市副市長の大沢治様から団体や地域として取り組んでいる活動や世界の恒久平和を願う思いなどについてご挨拶をいただきました。小菅岩手県実行委員からは平和キャラバンの取り組みについて状況報告をいただきました。最後は川崎青年委員長から平和アピールを提案し、満場の拍手で承認されました。



二戸地区実行委員長
中田茂

二戸地区原水爆禁止協議会代表 鈴木忠幸様

二戸市副市長
大沢治様

県実行委員
小菅孝広様

青年委員長
川崎佳久



平和に取り組むに対する要請行動

連合岩手県北地域協議会・平和環境久慈地区センター・久慈地区友愛会の労働3団体は県北沿岸4市町村に対し、原爆投下時刻と終戦の日に黙とう・サイレン吹鳴等の実施及び恒久平和と核兵器廃絶に向けた取り組みに対する要請行動を実施しました。

写真左 久慈市 遠藤譲一市長

写真中央 普代村 柁屋伸夫村長



写真左 野田村 小田祐士村長

写真左 洋野町 滝川幸弘総務課長



7月5日は久慈市、7月7日は普代村・野田村・洋野町へ要請行動を実施しました。4市町村へは連合岩手県北地域協議会の坂本事務局長と平和環境久慈地区センターの山田副議長、久慈市については久慈地区友愛会の柳清水会長と3人で訪問しました。

今年はロシアによるウクライナ侵攻とプーチン大統領の核兵器使用を示唆する発言などにより、危機感を持った意見交換を行い、唯一の被爆国として、被爆地以外の地域からも積極的な取り組みを行っていきたくと回答をいただきました。

被爆77年

連合2022平和ヒロシマ集会

～語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で核兵器廃絶と恒久平和を実現しよう～

8月5日に開催された連合2022平和ヒロシマ集会に連合岩手から11名で参加しました。

13時からのピースウォークでは平和記念公園全体を詳細に説明していただき、被爆当時の状況や、その後全国からの協力もあり、様々な慰霊碑や供養塔などが建立されたことを教えていただきました。

その後は広島産業会館西展示館に移動し、16時半からの連合平和ヒロシマ集会に参加しました。集会では被爆体験証言として広島県原爆被害者団体協議会の切明千枝子さんから当時から今日までの体験談を細かく話していただきました。参加者全員からは貴重な時間に協力していただいた切明さんに満場の拍手で感謝いたしました。



ピースウォーク前に連合本部・連合広島・連合長崎から原爆ドーム前に献花していただいた花に岩手の龍泉洞の水を献水させていただきました。

平和ヒロシマ集会では連合岩手の組合員の皆さんからご協力をいただいた折鶴を献納しました。会場では高校生平和大使の皆さんも積極的な活動を行っていました。

広島の地で直接見て聞くことにより、改めて恒久平和と核兵器廃絶を強く望む有意義な参加になりました。

フードライブ活動実施



夏休みは給食を食べることが出来ない期間でもあり、給食を頼りにしている世帯からの緊急支援が通常月の倍以上になるとの実態を伺い、今年度もフードバンク岩手に食料品と寄付金を提供しました。協力をいただいた構成組織の皆さんに感謝いたします。



ご協力をいただいた構成組織と個人の皆さま

《 食料品 》

PJ二戸フーズ 労働組合
県職労久慈支部
岩教組県北支部
オールユニバースユニオン
東北電労二戸支部(久慈地区)
個人(こくみん共済coop・県北地域協議会事務局)
食料品全体 166.96Kg

《 寄付金 》

PJ二戸フーズ 労働組合
JP労組県北支部
県北地域協議会
寄付金総額 115,248円